

全
広
連

二〇一七年三月五日発行 / 奇数月1回5日発行 / 通巻一〇六八号 / 昭和三十九年二月十一日第三種郵便物認可
発行 / 公益社団法人全日本広告連盟 〒一〇四・〇〇六 東京都中央区銀座七丁目四番十七号電通銀座ビル七F 電話〇三・三五六九・三五六六 www.ad-zenkoren.org

広告の元気は、ニッポンの元気。

全広連

Special Report
第65回 全日本広告連盟神戸大会ご案内



広島県 広島市 / 広島東洋カープオフィシャルカメラマン 山邊久美さん



公益社団法人
全日本広告連盟
JAPAN ADVERTISING FEDERATION

www.ad-zenkoren.org

ごあいさつ



第65回 全日本広告連盟
神戸大会組織委員会 会長
家次 恒

第65回全日本広告連盟神戸大会の開催が、間近に迫ってまいりました。

東日本大震災を経験した仙台の地からバトンを受け取り、36年ぶりの神戸開催となります。阪神・淡路大震災から22年、復興した姿を皆様には是非ご覧いただきたいと存じます。

また今大会は、神戸開港150年という節目の年にあたることもあり、大会テーマを「いざ出航、広告の未来へ!~次世代につなぐ、『絆』とともに~」とし、「開港150年」「震災と絆」「広告の未来」の3つのキーワードで構成します。

開港150年の歩みをまとめた映像のほか、神戸の街の復興の象徴となった「向日葵(ひまわり)」をテーマにした「ひまわりプロジェクト」をご紹介します。これは、仙台と神戸、両被災地で採れた種を全国で育

て、採取した「ひまわり油」の売上を熊本地震の復興支援に充てるというもので、まさに被災地をつなぐ絆となるものです。

また、演劇「午前5時47分の時計台」を通じて、皆様からのご支援に感謝の意を伝えるとともに、記念講演では未来に向けたメッセージを発信します。

見学会では、神戸港の歴史や震災の記憶に触れるコースも設けました。これらのプログラムから大会テーマに込めた思いを感じていただければ幸いです。

神戸は、都会にしながら海と山の両方を身近に感じることができる街です。六甲山・摩耶山の新緑と海の青さの鮮やかなコントラストが1年を通して最も美しい5月に皆様をお迎えできることを心より楽しみにしております。

広告の元気は、ニッポンの元気。

2017

全広連

Vol.1068

3

CONTENTS

- 2 Special Report 第65回 全日本広告連盟神戸大会ご案内
いざ出航、広告の未来へ!
~次世代につなぐ、『絆』とともに~
- 5 ADFEST 2017
YOUNG LOTUS WORKSHOP 日本代表
第一次選考会・最終選考会
「Pre ADFEST 2017」開催
- 7 各地広告協会の動き
(岩手・山形・東京)
- 8 CLIP BOARD

Cover photo



広島広告協会 協力(撮影:中国新聞社 荒木肇記者)

広島県 広島市
広島東洋カープ オフィシャルカメラマン 山邊久美さん

山邊さんの守備位置は、球場のスタンド。観客席を駆け回り、ゲーム展開に一喜一憂する赤ヘルファンにレンズを向ける。「カープに熱い声援を送り、盛り上げてくれるファンの皆さんにスポットを当てたい」。写真はカープ公式サイト内「やまべが行く」に掲載され、チームとファンをつなぐ架け橋になっている。25年ぶりのセ・リーグ優勝を果たした昨年9月10日の巨人戦では、歓喜するカープ女子、涙を流しながら喜ぶ男性など、歴史に残るカットがサイトを飾った。本年も既に始動し、宮崎県日南市の春季キャンプでの現地優勝パレードなど、選手の意気込みとファンの熱気を伝えた。高校時代に写真部で腕を磨いたが、2012年の入社当初は野球のルールもよく知らなかった。そんな「やまべ」が今やファンのカープ愛に背中を押されながらシャッターを切る。「2連覇に向け、今シーズンも気合を入れて頑張ります」。



第65回 全広連神戸大会事務局

神戸開港150年 新しいステージへ

第65回全日本広告連盟神戸大会が、目前に迫ってまいりました。神戸での開催は1981年の第29回大会以来、36年ぶり二度目となります。日程は5月17日から19日の3日間。メインプログラムとなる大会式典や記念講演、懇親会などは、神戸ポートピアホテルを会場とする一か所完結型で繰り広げます。



神戸広告協会は、今年の神戸開港150年を記念し、全広連大会を誘致しました。2014年9月に神戸大会準備委員会を発足させ、各種準備に着手。15年秋には準備委

員会メンバーを中心に大会事務局を、そして実働部隊として「総務・式典」「懇親」「宿泊・見学・送迎」「ゴルフ」の4つの部会を設置。翌16年1月に大会組織委員会を立ち上げました。

大会テーマは、多数の候補から『いざ出航、広告の未来へ!~次世代につなぐ、「絆」とともに~』に決定しました。神戸港開港150年の節目に、協会会員が総力を結集し、震災から得た教訓を次世代に継承していくとともに、広告が新時代を創造する役割を担うという意味を込めています。そして大会ロゴマークは、開港150年を迎える神戸の頭文字「K」と船をモチーフに、前に突き進む広告人の熱い思いと、神戸の街の力強い息吹を表現したデザインに決定しました。

前回の第29回神戸大会は、参加者が1000人を越えた初めての大会で大盛況を収めたと記録にあります。前回大会に負けないよう、申込手続きのWeb化をはじめ、大会会場の一か所完結、前年の仙台大会との連携事業、演劇公演やゴルフ会場の複数化など、これまでにない仕掛けでエポックとなる大会にすべく準備を進めています。

神戸開港からの港町文化 震災からの復興

神戸は1868年の開港以来、様々な国から人やモノ、文化が運び込まれ、多種多様なハイカラ文化を育んできました。この港からもたらされた文化には、日本初として全国に普及したものが多数あります。そして、国際貿易港としても栄え、重厚長大産業から食品やアパレル産業など神戸を代表する産業が発展していきました。

しかし、順調に成熟しつつあった神戸が大きな転機を迎えます。1995年1月17日、未曾有の被害をもたらした阪神・淡路大震災です。6400人以上の尊い命が奪われ、まちは壊滅的な被害を受けました。あれから22年の歳月を経て、復興から創生へと着実に歩み続けています。ご参加いただく皆様とともに神戸のまちが辿ってきた復興の道りを共有していただき、その教訓を発信していく。それが大会開催の意義と考えております。

広告の未来を考える多彩なプログラム

全国からご参加いただく皆様に、神戸開港から積み重ねてきた歴史や風土、文化、そして阪神・淡路大震災の壊滅状態から蘇った神戸の姿に触れ、さらに広告の未来について考えていただくため、「開港150年」「震災と絆」「広告の未来」の3つのキーワードを柱にし、大会プログラムを構成しました。

オープニングは、スーパーキッズオーケストラのOB、OGによる演奏と開港150年映像です。大会式典に続いて、オリジナルプログラムが始まります。まずは、記念リレープレゼンテーション。昨年の仙台大会から継続実施している『みんなのひまわりハートプロジェクト』の事業紹介をはじめ、震災復興における広告の役割や広告の未来を探っていきます。

午後は記念講演でスタートします。開港150年をテーマに「港からはじまる物語〜地、終わり 未来が拓ける神戸から〜」と題して、神戸ゆかりの商社、鈴木商店を題材にした小説『お家さん』の著者で知られる作家の玉岡かおるさんにご講演いただきます。

続いて、東京を拠点に活躍している劇団山本屋が贈る記念演劇公演「午前5時47分の時計台」です。阪神・

淡路大震災から20余年が経った今、神戸の街並みは何事もなかったように変貌を遂げています。時が経つにつれ、災害への備えの重要性はわかっていますが、日常の忙しさにかまけ当時のことをつい忘れてしまいがちです。しかし災害は今後も必ず襲ってきます。演劇を通じて、人と人との絆の大切さや生きることのすばらしさなどを感じ取っていただければと思います。

そして、初日の締めくくりは懇親会です。会期中最大の交流の場には、神戸ビーフをはじめ神戸・兵庫の味の数々をご用意。さらに会場を大いに盛り上げてくれる企画もご準備しておりますので、どうぞご期待ください。

神戸・兵庫の歴史、文化 多彩なプランの見学会

今大会の開催地となる神戸を有する兵庫は、北は日本海、南は瀬戸内海太平洋に通じています。但馬、丹波、摂津、播磨、淡路の旧五国から形成された県土には様々な歴史が積み重なり、多種多様な顔があります。皆様の趣向をそそるラインナップをそろえました。見学会は、日帰りコース4コースと一泊二日1コースです。

1 神戸開港150年歴史探訪コース

今大会のテーマにある開港150年を体感していただくコースです。灘の酒蔵を見学後、六甲山で昼食、神戸の街並みを一望していただきます。再び市街地に戻って旧居留地を見学し、その後は船に乗り、海から港の歴史をご覧ください。こちらには案内人として郷土史の第一人者・田辺真人氏が同行します。

2 S席で観る宝塚歌劇鑑賞コース

阪神モダニズムを代表し、全国にファンを擁する、ご存じ「タカラヅカ」です。当日は雪組のミュージカルコメディが予定されています。S席でご覧いただく歌劇にきっと満足いただけるのではないのでしょうか。また近隣にある鉄腕アトムの生みの親「手塚治虫記念館」にもお立ち寄りいただけます。

3 名湯・有馬温泉と甲子園歴史館コース

高校球児の聖地、阪神タイガースの本拠地「阪神甲子園球場」を訪問し、歴史館と球場のバックヤードとなる

球場各所をご覧いただけます。その後、日本の名湯有馬温泉に移動し「兵衛向陽閣」でご昼食、ご入浴、そして有馬街道の歴史探訪をしていただけます。



4 兵庫から防災を学ぶコース

阪神・淡路大震災を経験した地で、防災について体感していただくコースです。まず耐震工学などの実験施設として設置されたE・ディフェンス（三木市）を訪れます。昼食は三田屋本店やすらぎの郷で三田牛ステーキを。再び神戸に戻り、地震、災害への防災、減災を学ぶ「人と防災未来センター」を訪問していただけます。



5 世界遺産・姫路城の見学と夢千代の里・湯村温泉の1泊2日コース

姫路から但馬エリアの魅力を盛り込んだコースです。まず、平成の大改修を終え蘇った世界遺産・姫路城を訪れます。灘菊酒造（姫路）での昼食後、日本を代表する冒険家「植村直己冒険館」を訪問。初日のお疲れは、



湯村温泉を代表する「井づつや」にて癒していただきます。二日目は「コウノトリの郷公園」を訪れ、そして但馬の小京都「出石」（いずし）に場所を移し、街並み散策と出石そばをご賞味いただけます。

日本ゴルフ発祥の地 志向に応じた各コース

ご案内の最後は、懇親ゴルフ会です。1903年、日本で最初のゴルフ場ができたのが神戸。日本ゴルフ発祥の地であることから、懇親ゴルフ会を目玉的な位置づけとし、大会史上類を見ない3コースをご用意しました。

神戸ゴルフ倶楽部

日本初のゴルフ場として、歴史と伝統、風格を兼ね備えます。六甲山の地形を生かしたコースは、アップダウンが多く、健脚を要します。セレクトした10本を駆使するクラブ選択には、知力が試されます。日頃のゴルフとは全く違う、ゴルフの原点を体感していただけます。



廣野ゴルフ倶楽部

日本を代表するゴルフ場として、ゴルフ本来のルールとマナーが厳格に求められる伝統は、今なお受け継がれています。希望者が多数の場合は抽選となりますので、悪しからずご了承ください。

六甲国際ゴルフ倶楽部

日本オープンゴルフ選手権、サントリーレディスオープンなど、数々のプロトーナメントの舞台となるコースです。神戸の市街地からも近く、今回のコースでは唯一乗用カートのプレーとなります。

開港150年を迎え、震災を乗り越えてきた神戸のまち並みや文化、そしてグルメをご堪能ください。神戸で多くの方にお会いできますよう、大会組織委員会一同、皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

ADFEST 2017 YOUNG LOTUS WORKSHOP 日本代表

第一次選考会・最終選考会 Pre ADFEST 2017 開催

YOUNG LOTUS WORKSHOP

日本代表第一次選考・Pre ADFEST 2017

■日程:2017年1月30日 ■場所:電通銀座ビル・虎ノ門ヒルズフォーラム

YOUNG LOTUS WORKSHOP

日本代表最終選考

■日程:2017年2月6日 ■場所:電通銀座ビル

YLW2017 日本代表 審査員

鏡 明氏(ドリル)
古川 裕也氏(電通)
長谷部 守彦氏(博報堂)
八嶋 美氏(アサツー ディ・ケイ)
キリーロバ・ナージャ氏(電通)
新沢 崇幸氏(TBWA\HAKUHODO)

全広連は、アジア太平洋広告祭「ADFEST 2017」(タイ・パタヤ、3月22日~25日)に併催される、28歳以下のクリエイターを対象としたワークショップおよび作品コンペ「YOUNG LOTUS WORKSHOP(YLW)」日本代表チームの選考を、2段階選抜方式に変更した。それに伴い、第一次選考と同日に行う「Pre ADFEST」は、最終選考に進むファイナリストらの発表の場とし、後日、最終選考会を開催し日本代表を決定した。全広連は日本代表チームの選出および派遣、「Pre ADFEST」を主催している。

今年の課題は「Climate Action(気候変動への対策)」。各地から全129組がエントリーした。課題制作に使用する素材はGettyイメージズジャパンより無償提供を得た。

1月30日正午から開催された第一



次選考会にて、ショートリスト4組、ファイナリスト3組を選出した。

同日午後7時より、虎ノ門ヒルズフォーラムにて「Pre ADFEST 2017」を開催し、応募者ら約200名が参加した。会場内には全応募作品が掲出され、参加者らは熱心に作品を見学した。

選考結果発表に先立ち、前回日本代表の大石・タルボットチーム(博報堂)が登壇し、日本代表として得た経験などを語った。両氏はウェルカムボードや賞状の制作も担当した。



ファイナリストらの発表では、「今回のテーマは“何となく既に知っているけれど、アクションできない”という、とっつきやすいようでいて難しいものだった。その中でいかに切り口を変えるか。細部に陥らず、乱暴にもならないアイデアを見つける力があるチームを選出した」と審査員らが講評を行い、賞状、副賞を贈呈した。

本イベントには、大正製薬、味の素、キリンビール、資生堂、三菱鉛筆、第一三共ヘルスケア、電通、博報堂、アサツー ディ・ケイ、大広、東急エージェンシー、読売広告社、凸版印刷(順不同)から協賛・商品のご提供等を得た。



YLW2017 日本代表 第一次選考結果

【Finalist】

鎌倉由佳・藤田真帆
(ワン・トゥー・テン・デザイン)
安慶田隼・野田紗代(博報堂)
平野巴章・ウイスターマイヤ
(電通・Ogilvy&Mather Japan)

【Shortlist】

谷脇太郎・市田啓幸(博報堂)
東成樹・北恭子(電通)
郭あかげ・高橋万実子(電通)
西出壮宏・榎悠太
(TBWA\HAKUHODO)

※表記は全てCopy-Artの順(敬称略)

2月6日、日本代表最終選考会が開催された。課題は「Stop Drinking and Driving (飲酒運転の撲滅)」。

当日午前9時30分に課題発表後、審査員による第一次選考のフィードバックを挟み、午後5時から各チームがプレゼンテーションを行った。

最終選考の結果、日本代表は安慶田隼・野田紗代(博報堂)チームに決定した。



英語によるプレゼンテーション・質疑応答
審査員から各チームの案に対してフィードバックを行い、「各国の参加者から、日本の環境は憧られていることを実感するはず。気負わず、全力で

やってくるほしい」と激励の言葉を贈り、閉会となった。

YLW本戦のレポートは、機関誌「全広連」5月号にて掲載する予定。



日本代表決定
(前列左から3人目が野田氏、4人目が安慶田氏)

若手の皆さん、そして彼らの上司である皆様へ (審査員長 鏡明)

まずは、ここ数年“広告会社のクリエイティブ”を超えた職種からの応募が増えていることを大変嬉しく思っている。YLWでは特にアイデア力を重視しており、幅広い若手にチャンスがある。応募することで、研鑽を積む機会を作り出してほしい。

本年から2段階選抜方式に変更したが、より良い選考ができたと考えている。一次選考の講評でも述べたが、「気候変動への対策」、「飲酒運転の撲滅」のテーマは、既に世界中で多様なアイデアが出されており、その既視感を避けつつ、さらに本選考では他の参加者と異なる案を出すことの重要性に早く気づけるかが勝敗を分けた。アイデアのオリジナリティが抜きこんでいたのが一

次選考のファイナリスト達で、彼らは最終選考時それぞれ独自の案を出しており、その点で皆、十分な地力があった。代表決定に際してはアイデアに加えてプレゼン・質疑応答の力も含め総合的に判断した。

若手が多忙な業務と並行しつつコンペに臨む時、勝つための“一夜漬け”必勝法は存在しない。しかし、日ごろから意識して磨いてほしい力がある。それは、「選ぶ力」。制限時間内のアイデア出しを経て、プレゼンに出すべき最も良い一案を選ぶ力である。例えば日常業務でクライアントに複数提案する際、最終決定はクライアントがする場合でも、「自分はどの案がベストだと思うか」を考えぬくことを放棄しないこと。上司

や先輩たちとも話しあうことで、考える力を磨いてほしい。

若手を送り出す上司の方たちへは、このような機会を彼らへの「先行投資の場」と明確に位置付け、積極的に送り出していただければと考えている。YLWは宿泊・渡航費等はサポートされている。後はこれにかける時間のねん出だが、一次・最終選考、YLW出席・コンペ、帰国後の各種報告などを全て含めた数百時間は、日常業務のそれに勝るとも劣らない経験財産となり、その後の彼らの活躍による会社への貢献につながることをお約束したい。

また来年、多くの若手たちと会えることを楽しみにしている。

各地広告協会の動き

岩手 岩手広告協会 節分祈願祭を開催

岩手広告協会は2月3日、盛岡市のホテル東日本で節分祈願祭を行い、協会役員らが豆まきをして社業発展と景気回復を願った。会員約50人が出席。祈願祭では役員ら9人が袴(かみしも)姿で現れ、神事に続き「福は内」の掛け声に合わせて、勢いよく豆をまいた。



景気回復を願い、威勢よく豆をまく協会役員ら

新春講演会は、盛岡地方気象台の和田幸一郎台長が「激甚化する気象災害に備えて」と題し講演した。岩手県に大きな被害をもたらした昨年の台風10号など近年の気象災害について解説し、「短時間でやってくる危険には、早期の避難判断が必要」と訴えた。

講演会後の懇親会では、今年の地域活性化を願い、杯を交わした。

山形 山形広告協会 山形広告セミナー開催

山形広告協会の創立60周年を記念した「山形広告セミナー」が2月9日、山形市の山形グランドホテルで開催され、麒麟ビールマーケティング部広告・SP担当の大野知法氏と電通第1CRプランニング局の永田大典氏が講演した。全広連助成事業として実施し、会員企業社員や一般聴講者約100人が参加した。

大野氏は、「47都道府県の一歩搾り」の企画から商品開発、プロモーションなどを通し、ビール市場にインパクトを与えた事例について語った。



講演する麒麟ビール 大野氏

永田氏は大正製薬「リポビタンD」など、これまでに手掛けたCMの事例や、「山形をプロデュースするなら」と仮定しての展開案を紹介し、「山形が元気になると世界が元気になることを、私も確信した」などと述べた。

東京 東京広告協会 定時総会、創立70周年記念 懇親パーティーなどを開催

東京広告協会は2月20日、帝国ホテルで第89回定時総会、第36回「東京広告協会 白川 忍賞」贈賞式、記念講演、創立70周年記念懇親パーティーを開催した。



第89回定時総会を開催

記念講演には「歌舞伎俳優の仕事 ～初舞台から70年～」と題して歌舞伎俳優の中村吉右衛門氏が登壇。懇親パーティーでは大平明理事長が「会員にとって価値ある協会であり続けるため、これからも努力してまいります」と挨拶し、会員らが親睦を深めた。



TOPICS

第5回「全広連日本宣伝賞」各賞決定

全広連は、昨年12月19日に第5回「全広連日本宣伝賞」選考委員会を開き、次の通り受賞者を決定した。

各賞は5月17日(水)開催の第65回全広連神戸大会式典内で贈賞を行う予定。

「松下賞」江崎勝久氏(江崎グリコ㈱代表取締役社長)

「正力賞」蓮見清一氏(㈱宝島社代表取締役社長)

「吉田賞」森田 清氏((一社)日本ABC協会会長)

「山名賞」佐藤 卓氏(グラフィックデザイナー)

平成28年度第5回理事会開く 平成29年度事業計画・予算など承認

全広連は3月9日、平成28年度第5回理事会を東京の電通銀座ビルで開催した。大平明理事長を議長に、平成29年度事業計画など8議案について決議し、全て異議なく承認された。

【平成28年度第5回理事会 決議事項】	第6号議案 任期満了に伴う「全広連日本宣伝賞」選考委員会委員選任の件
第1号議案 「事務局業務委託契約書」一部改正及び再締結の件	第7号議案 「慶弔及び見舞金規程」一部改正の件
第2号議案 平成29年度全広連助成金支給の件	第8号議案 イベントに対する後援等全広連への申入れ対応の件
第3号議案 平成29年度事業計画書承認の件	【同 報告事項】
第4号議案 平成29年度収支予算承認の件	職務執行状況の報告 他
第5号議案 ブロック代表者1名選任の件	

全広連の活動(平成29年3月～5月)

- 活動日程 3月 9日 平成28年度第5回理事会(東京、電通銀座ビル)
- 3月21日～26日 ADFEST 2017 研修ツアー(タイ・パタヤ)
- 3月29日 第11回全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞選考委員会(東京、電通銀座ビル)
- 4月10日 平成29年度第1回8ブロック会議(東京、電通銀座ビル)
- 4月21日 全広連ブロック会議、第107回全国事務局長会議、第11回全広連鈴木三郎助地域クリエイティブ大賞選考委員会、平成29年度第1回理事会(東京、コートヤード・マリオット銀座東武ホテル)
- 5月16日 第65回通常総会、平成29年度第2回理事会(予定・神戸、ポートピアホテル)
- 5月17日～5月19日 第65回全日本広告連盟神戸大会(神戸、ポートピアホール他)

INFORMATION

第65回全広連神戸大会 登録のご案内

第65回全広連神戸大会(P2～P4参照)の登録申込を下記の通り受付けています。大会申込Webサイトよりご登録ください。申込に関するお問合せは所属広告協会までお願いします。【※切 3月21日(火)23:59】

- 大会登録料(消費税込)
会員:お一人 27,000円 同伴者:12,500円
- 大会全般に関するお問合せ
第65回全日本広告連盟神戸大会事務局
TEL:078-362-6601 [9:30～17:30(土・日・祝休)]
E-mail:zenkouren-kobe@kobe-np.co.jp
- 申込Webサイト [全広連神戸大会 検索](https://www.pac-sys.net/zenkoren_kobe2017)
https://www.pac-sys.net/zenkoren_kobe2017

新入会員社紹介 [敬称略]

【東京広告協会】(社1名)

- ㈱コレクシア
代表取締役 村山幹朗

【お願い】人事異動などによる会員の交代や役職の変更等が生じ、機関誌「全広連」の発送先が変更になった場合は所属広告協会事務局へご連絡をお願いします。

全広連の活動について詳しくはウェブサイトから ▶ www.ad-zenkoren.org